

授業科目 国際保健学	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 2年 前期・後期
科目責任者	三好美紀	
担当者	押谷仁（東北大学大学院）、大関信子、三好美紀	
1. 科目のねらい・目標 グローバルヘルスの観点から、地球環境、健康問題とそれらに対する効果的な対策に関して理解を深める。 具体的には、世界における健康問題の現状と課題を学び、特に、開発途上国の健康・栄養格差とその要因を個人・世帯・地域・国・地球レベルでとらえ、同分野における国際協力の現状と課題について理解する。		
2. 授業計画・内容 Part I 【三好 美紀】（1）～（7） 1回：国際保健・栄養学の概要 2・3回：世界の栄養問題 4・5回：栄養アセスメントと介入施策 6・7回：保健・栄養分野の国際協力、 Part II 【大関 信子】（8）～（11） 8・9回：医療人類学と国際母子保健学； 国際協力の課題と対応策 10・11回：異文化アセスメントモデルとケアの実際 Part III 【押谷 仁】（12）～（14） 12～14回：国際保健と感染症対策		
3. 教科書、参考書 特に教科書は指定しない。各担当が資料を配布する。 【参考書】 ・木原正博、木原雅子（監訳）グローバルヘルス：世界の健康と対処戦略の最新動向。メディカル・サイエンス・インターナショナル。2017 ・日本国際保健医療学会（編）国際保健医療学（第3版）。杏林書院。2013		
4. 成績評価方法 出席状況、演習、プレゼンテーション、レポートなどを勘案して、総合的に評価します。		
5. 受講要件 特にありません。		
6. 社会人学生に対する配慮 土曜日等に集中して開講します。Webラーニングシステムでの受講は行いません。		
7. その他 ・大関担当分のコースガイドライン（参考書を含む）と事前学習課題は、4月中に受講生にメール配信します。		